



TOKYO CHUO SHIN ROTARY CLUB 東京中央新ロータリークラブ週報

例会日 毎週月曜日(12:30~13:30) 会場 帝国ホテル及びオンライン
 会長 明山 友美 幹事 山田 桂子
 事務局 〒104-0061 中央区銀座8-11-12 正金ビル2F
 TEL 03-5537-0270 FAX 03-5537-0271 <https://tokyochuo-new-rc.jp>

2023-24年度 国際ロータリーテーマ 「世界に希望を生み出そう」

例会報告 第902回 2023年10月16日(月) ハイブリッド例会

出席率 48.15% 出席+接続会員数22名+メーカーキャップ4名
 (正会員60名-休会6名)

🌀 開始 (大盛SAA 委員司会担当)

定刻となりましたのでこれより第902回例会を開催致します。

本日の例会の様子は当クラブのHPの記録のため録画致しますので、ご参加の皆様は、予め個人情報の許諾をお願い致します。

🌀 明山友美会長 点鐘挨拶

皆さまこんにちは。本日もよろしくお願ひいたします。それでは東京中央新ロータリークラブ第902回例会を開催致します。

🌀 ロータリーソング (ソングリーダー: 圓井会員)

「四つのテスト」「世界をつなぐロータリー(1番のみ)」

🌀 卓話者・ゲスト発表 (上田SAA 副委員長)

例会によくご参加下さいました。

本日はテーブルディスカッションのためゲストはお迎えしておりません。

🌀 米山奨学金授与 (張氏へ明山会長より)

皆様いつもありがとうございます。



🌀 会長報告 (明山会長)

- 画廊巡り、沢山の皆様と参加出来良かったと思います。ご参加の皆様ありがとうございました。
- 10月29日、世界ポリオデーで宮崎ガバナーが自転車で300キロ走り、泰明小学校にいらっしゃいます。その際、泰明小学校にてパネルディスカッションがあり、私もパネラーとして参加します。また、東京駅から泰明小学校へのポリオウォークもありますので、ご参加下さい。
- 南会員がロータリーの友に掲載されています。ご覧ください。

🌀 『ロータリーの友』推進委員発表

(石原ロータリーの友推進委員長)

『ロータリーの友』9月号、10月号についてのご紹介



🌀 幹事報告 (山田桂子幹事)

- 10月2日(月)の例会後に第四回定例理事会が開催されました。
 - 「目的を持った募金」の運用ルールについて、クラブとして活動している奉仕活動のみを対象とすることになりました。
 - 国際奉仕が増えてきたことを受け、お土産など費用負担のルールづくりをすることになりました。
 - ファイヤーサイド・ミーティングの日程は11月17日、3月15日、5月17日になりました。
 - 地区補助金プロジェクトである Learning for All ご報告があり、10月6日にフードパントリーを、10月30日例会で贈呈式を行う旨報告がありました。
- 10月7-9日にRYLA 2023が開催され、当クラブから推薦したラナ・ディーバさんをご参加されました。
- 皆様が奉仕活動や親睦活動に参加された時のお写真やご報告をぜひコミュニケーション・ボードに掲載お願いいたします。



高橋 肇会長エレクト

昨日娘の4歳バースデーだったのでニコニコします!!

大盛 敬子 会員

本日のディスカッション楽しみにしております。

桑澤 淳 会員

受付うっかりしていたので…ニコニコします

中里妃沙子 会員

何はなくともいつもニコニコします!

松岡 光恵 会員

先日初めての奉仕活動“画廊めぐり”に参加して来ました。お店の方に質問攻めの小学生たちと楽しく鑑賞してきました。野呂さんありがとうございました。

にこにこ合計 12,000 円

📌 テーブルディスカッション (第一回)

• テーマ:

より良いクラブになるために
一奉仕活動における会員負担について

• 目的・背景について (明山会長):

コロナ後、様々な奉仕活動を再開する中、クラブ会員の時間や費用の負担について異なる意見をいただき、様々な視点や意見をお互いに知る機会の必要性を感じこの場を設けました。正解を出すということでは無く、相互理解を深めるための第一ステップとなることを目的として行います。



RIで提唱されているDEI (多様性・公平さ・インクルージョン) の受容の考えにのっとり、会員の異なる意見をお互いに受容し、よりよいクラブになるための発展的ディスカッションをしていただければと考えています。

• 形式:

ファシリテーターと書記をテーブルごとに決めディスカッションをすすめ、配布された紙2枚に内容を自由にまとめて下さい。

• ディスカッション (15分)



• 発表:

- 原則として全会員での負担が好ましい。ただ毎回それをするのは作業も煩雑となり大変であるため、例えば予算を超えてしまった分に関して、半期なり、期ごとにまとめて、理事会を通した上で、会員で分割負担したらよいのではないのでしょうか?
- 活動への参加の意識向上のためにも参加を呼びかけるメールに送金の仕組 (QRなど) をつけてニコニコ送金などしやすくし、そういった参加の仕方についてもきちんと賛辞を示すようにしたら良いのではないのでしょうか。
- 育成園のキャンプについてはより多くの方々が関わられるように1年前から予定を組んで当番制にしてはどうでしょうか。
- 中央区に特化した奉仕活動をもう少し出来たら良いのではないのでしょうか。
- 例会出席率を増やすという観点でオンラインはもう止めても良いのではないのでしょうか。
- I serveが基本だとしても若い人を巻き込むためには皆で少しずつ負担をしていく方向が良いのではないのでしょうか。
- 予算配分を見直すことも必要ではないのでしょうか。
- やれる人がやるという原則でも良いのではないのでしょうか。
- 育成園に関しては参加者各人の負担が良いと考える一方、様々な方が参加出来るような日程設定や、より前倒しでの日程周知が必要ではないのでしょうか。
- 費用をクラブ全体で負担することで、活動に対する全体参加の意識が高まるのではないのでしょうか。
- 費用を部分的に (例えば半分) 参加者で負担し、残りはクラブで負担など比率を決めても良いのではないのでしょうか。
- 例会の席をくじ引きにして色々な方々と知り合えることは良いと思います。

(要約文責 杉原)



前期週報原稿分担委員

宮下文夫・小堀彰・海渡千佳

(協力委員) 水野珠貴・杉原由佳子・中里妃沙子